

Alibaba (阿里巴巴)の知財戦略: 生成AIモデルのオープンソース化と独自IPPプラットフォームによる権利保護体制

エグゼクティブサマリ

事業概要: Alibaba Group Holding Limitedは、Form 20-Fにおいて、ケイマン諸島に設立された持株会社であり、中国本土、香港特別行政区およびその他の地域においてマーケットプレイスやその他の事業を運営する子会社の所有、ならびに知的財産権ポートフォリオの保有を行う会社として開示されている[1]。同社公式発表では、ミッションは「to make it easy to do business anywhere」とされ、102年続く企業となることを目標としている[2]。本文では、Taobao and Tmall Group、Alibaba Cloud、Alibaba DAMO Academy、Cainiaoなどの組織について、公式開示や公式ページで確認できる範囲の事実を整理している。主要事業に関する外部データとして、Alibaba CloudはAlibaba Cloud公式発表が引用するGartnerレポートに基づき、2025年のアジア太平洋IaaS市場において収益ベースで22.5%のシェアを有すると公表されている[26]。また、米国International Trade Administrationは、2023年半ば時点でTaobaoとTmallを合わせた中国eコマース市場シェアを44%と記載している[27]。

財務: Alibaba Groupは、Product development expensesを、テクノロジー、インターネットインフラ、アプリケーション、オペレーティングシステム、ソフトウェア、データベース、ネットワークの開発、ならびに研究開発人員に関連する給与、賞与、福利厚生、株式報酬費用を含む費用項目として開示している[1]。2026年3月期の同費用は66,533 RMB million、2025年3月期は57,151 RMB million、2024年3月期は52,256 RMB millionである[3][4]。四半期別では、2026年3月期第4四半期が18,957 RMB million、2026年3月期第3四半期が15,480 RMB million、2026年3月期第2四半期が17,095 RMB million、2026年3月期第1四半期が15,001 RMB millionである[4][5][6][7]。株主還元については、2026年3月期に関する年間普通現金配当として、1普通株当たり0.13125米ドル、1ADS当たり1.05米ドル、総額約2.5 billion米ドルの配当が取締役会で承認されたと公表されている[4]。2025年3月期には年間配当と一時特別配当を合わせた2部構成の配当が宣言されている[1]。

技術・知財: Alibaba GroupのFY2025 Interim Reportでは、2024年9月30日時点の無形資産総額は償却・減損控除前で115,290 RMB million、累計償却および減損は92,384 RMB million、純帳簿価額は22,906 RMB millionである[10]。内訳には、ユーザーベースおよび顧客関係、商号・商標・ドメイン名、競業禁止義務契約、開発済技術および特許、ライセンス著作権およびその他が含まれる[10]。WIPOのPatent Landscape Report on Generative Artificial Intelligenceでは、2014年から2023年に54,000超の生成AI関連発明が出願され、Alibaba Groupは同期間の生成AI分野において571の単純パテントファミリーで上位出願人に含まれる[12]。Qwenについては、Alibaba公式ニュースが、2023年8月の初回オープンソース化以降、300以上の生成AIモデルをオープンソース化し、世界の開発者により600 million回以上ダウンロードされ、170,000以上の派生モデルが作成されたと公表している[13]。また、AlibabaのSEC提出資料では、2025年10月31日時点で、Qwenファミリーを基にHugging Face上で180,000以上の派生モデルが開発されたと記載されている[6]。

戦略・成長: Alibaba Groupは、AIおよびクラウド関連の技術展開について、Qwenモデル、Alibaba Cloud、AIアプリケーション、eコマースアプリとの統合を公式資料で公表している[4][13]。2026年3月

期決算資料では、TaobaoおよびTmallのeコマースサービスをQwen appへ統合したこと、Taobao appにQwen Shopping Assistantを導入したこと、Cloud Intelligence Groupの収益が2026年3月期に前年比34%増の158,132 RMB millionであったことが記載されている[4]。Alibaba Cloudは、Gartnerレポートを引用した公式発表において、2025年のアジア太平洋IaaS市場で収益ベース22.5%のシェア、2024年の20.8%からの増加、中国本土および香港での収益首位、グローバルIaaS市場で第4位であったと公表している[26]。Eコマースでは、USDAの2025年レポートが、2024年の中国オンライン小売総売上高を2.16 trillion米ドル、Tmallの推定GMVを約1.11 trillion米ドルと記載している[28]。Alibaba公式発表では、2025年の11.11 Shopping Festivalで、ほぼ600ブランドが100 million RMB以上の売上を記録したとされている[29]。

リスク・ESG: Alibaba Groupは、知的財産権、模倣品対策、環境関連の取り組みを複数の公式資料で開示している[1][14][16][25]。IPP Platformは、TaobaoおよびTmall Groupが運用する権利者向けの知的財産権保護ポータルであり、権利者が侵害被疑商品に対する苦情申し立てを行う窓口として利用される[16][17]。AACAIは、ブランド権利者や法執行機関と協力する模倣品対策アライアンスであり、2020年時点で193の権利者、700超のブランドをカバーしていた[22]。環境領域では、Alibaba Groupは2022年4月22日にLow Carbon Patent Pledgeへ加盟し、グリーンデータセンター技術に関連するエネルギー効率特許9件を無償で利用可能にしたと公表している[23]。FY2024 ESG Reportでは、自社事業からの温室効果ガス排出量を5.0%削減し、クリーン電力比率が39%に達したと記載されている[25]。Form 20-Fでは、知的財産権訴訟、規制、VIE構造、データ・サイバーセキュリティなどに関するリスク要因も開示されている[1]。

1. 企業基盤および研究開発(R&D)への投資実績

Alibaba Group Holding LimitedのSEC Form 20-Fによると、同社は中国本土、香港特別行政区、およびその他の地域においてマーケットプレイスやその他の事業を運営する子会社の所有、ならびに知的財産権ポートフォリオの保有を行う持株会社であると開示されている[1]。同社公式発表では、ミッションとして「to make it easy to do business anywhere」を掲げ、102年続く企業となることを目標としている[2]。

1.1. プロダクト開発費用(Product development expenses)の推移

Alibaba Group Holding LimitedのSEC Form 20-Fおよび公式決算発表資料によると、同社はテクノロジー、インターネットインフラ、アプリケーション、オペレーティングシステム、ソフトウェア、データベース、ネットワークの開発、ならびに研究開発(R&D)人員の給与、賞与、福利厚生、株式報酬費用を「Product development expenses」として計上している[1]。各対象期間における同費用の実績値は以下の通り報告されている。

通期の実績値として、2026年3月期におけるProduct development expensesは66,533 RMB million (9,645 US\$ million)であった[4]。2025年3月期の同費用は57,151 RMB millionであり、2024年3月期の同費用は52,256 RMB millionであった[3][4]。

四半期別の実績値については、以下のデータが公式開示資料において確認されている。2026年3月期第4四半期(2026年1月～3月)のProduct development expensesは18,957 RMB million (2,748 US\$ million)であり、当該四半期の売上高に対する割合は7.8%であった[4]。2026年3月期第3四半期(2025年10月～12月)の同費用は15,480 RMB million (2,214 US\$ million)であり、売上高に対する割合は5.4%であった[7]。2026年3月期第2四半期(2025年7月～9月)の同費用は17,095 RMB million (2,401 US\$ million)であり、売上高に対する割合は6.9%であった[6]。2026年3月期第

1四半期(2025年4月~6月)の同費用は15,001 RMB million(2,094 US\$ million)であり、売上高に対する割合は6.1%であった[5]。2025年3月期第4四半期(2025年1月~3月)の同費用は14,934 RMB millionであり、売上高に対する割合は6.3%であった[8]。2025年3月期第3四半期(2024年10月~12月)の同費用は14,662 RMB million(2,009 US\$ million)であり、売上高に対する割合は5.2%であった[7]。2025年3月期第1四半期(2024年4月~6月)の同費用は13,373 RMB million(1,840 US\$ million)であり、売上高に対する割合は5.5%であった[9]。

1.2. 研究開発に対する税制優遇とグループ内技術サービス料

Alibaba Group Holding LimitedのSEC Form 20-Fによると、中国(PRC)における主要な事業子会社の研究開発費に関連する税制優遇措置(Tax incentives)が適用されており、2025年3月期の当該税制優遇額は9,320 RMB million、2024年3月期は9,415 RMB million、2023年3月期は8,282 RMB millionであった[3]。

また、主要な変動持分事業体(VIE)およびその子会社に対して、主要VIEの一次受益者から独占的技術サービスが提供されており、これに伴う技術サービス料(Technical service fee)の発生が報告されている。2026年3月期の当該技術サービス料は21,510 RMB million(3,118 US\$ million)、2025年3月期は17,130 RMB million、2024年3月期は11,689 RMB millionであった[1]。

1.3. 資本配分および株主還元実績

Alibaba Group Holding LimitedのSEC Form 20-Fおよび公式決算発表資料によると、同社はAIおよびクラウドインフラ、AI基盤モデル、ネイティブアプリケーション等の分野に対する投資と、株主還元に関する情報を開示している[1][4]。2026年3月期に関する年間普通現金配当について、取締役会は1普通株当たり0.13125 US\$、1ADS当たり1.05 US\$の配当を承認し、総額は約2.5 US\$ billionとされた[4]。2025年3月期については、年間配当と一時特別配当を合わせた2部構成の配当が2025年5月15日に宣言された[1]。2024年3月期については、普通配当および特別配当を含む配当が開示されている[3]。株式買戻しに関して、2025年3月期までに11.9 US\$ billionの買戻しを実施し、これにより発行済株式総数の5.1%の純減を記録したことが報告されている[3]。

2. 知的財産権(無形資産・特許)のポートフォリオと国際出願関連指標

2.1. 無形資産(特許・商標・著作権等)の帳簿価額

Alibaba Group Holding LimitedのFY2025 Interim Reportによると、2024年9月30日時点の無形資産の総額(償却・減損控除前)は115,290 RMB millionであった[10]。同資料において開示されている無形資産の内訳は以下の通りである[10]。

- ユーザーベースおよび顧客関係(User base and customer relationships) : 48,783 RMB million
- 商号、商標およびドメイン名(Trade names, trademarks and domain names) : 39,596 RMB million
- 競業禁止義務契約(Non-compete agreements) : 11,682 RMB million
- 開発済技術および特許(Developed technology and patents) : 7,110 RMB million
- ライセンス著作権およびその他(Licensed copyrights and others) : 8,119 RMB million

これらの無形資産に対する累計償却および減損は、2024年9月30日時点で92,384 RMB millionであり、控除後の無形資産の純帳簿価額(Net book value)は22,906 RMB millionと報告されている[10]。なお、同社はSEC Form 20-Fにおいて、第三者から知的財産権に関する複数の訴訟を提起される可能性や、知的財産権に関する防衛活動が管理層のリソースを要する可能性をリスク要因として開示している[1]。

2.2. WIPOを通じたPCT利用指標

世界知的所有権機関(WIPO)が発行した公式レポート『PCT Yearly Review 2024』によると、2023年にPCT制度に基づいて世界全体で出願された国際特許出願は約272,600件であり、前年から1.8%減少した[11]。同レポートにおけるAlibaba Group Holding Ltd.の「1,809」という数値は、2015年から2017年のforeign-oriented patent familiesに関する指標として掲載されており、2023年単年のPCT出願公開件数としては記載しない[11]。

2.3. 生成AI(GenAI)分野におけるパテントファミリー指標

WIPOが2024年に公開した公式レポート『Patent Landscape Report on Generative Artificial Intelligence (GenAI)』によると、世界全体において2014年から2023年に54,000超の生成AI関連発明が出願され、そのうち2023年単独で全生成AI特許の25%以上が公開された[12]。同レポートでは、同一発明について複数国に出された特許を重複カウントしないため、単純パテントファミリー(simple patent families)を個別発明の代理指標として用いている[12]。同レポートによると、2014年から2023年における生成AI分野の単純パテントファミリー数として、Alibaba Groupは571ファミリーで、同分野の上位出願人に含まれている[12]。

3. 生成AI基盤モデル「Qwen」の技術展開とオープンソース化

3.1. Qwen(通義千問)ファミリーのオープンソース化実績

Alibaba Group Holding Limitedの公式ニュース、SEC提出資料およびESG関連資料によると、同社は自社の大規模言語モデル(LLM)である「Qwen(通義千問)」シリーズのオープンソース化を進めている[6][13][14]。同社公式ニュースによると、2023年8月の初回オープンソース化から2025年時点までに、AlibabaはQwenファミリーにおいて300以上の生成AIモデルをオープンソース化した[13]。同公式ニュースでは、これらのモデルは世界中の開発者によって600 million回以上ダウンロードされ、170,000以上の派生モデルが作成されたと記載されている[13]。また、AlibabaのAI開発プラットフォームであるModel Studioにおいて、提供開始以降1 million以上の企業および個人ユーザーがQwenを利用したことが報告されている[13]。

Alibaba Group Holding Limitedの2026年3月期第2四半期決算発表資料によると、2025年10月31日時点で、Qwenファミリーを基にHugging Face上で180,000以上の派生モデルが開発された[6]。AlibabaのESG関連ページによると、2025年3月期において、Alibabaは主要なAIモデルへの貢献度で世界第3位にランクインした[14]。同ページでは、オープンソースプラットフォームであるHugging Face上において、Qwenモデルファミリーは100,000以上の派生モデルを生み出したと記載されている[14]。Alibaba公式ニュースでは、Apsara Conference 2025におけるCEOの発言として、Qwenを継続してオープンソース化する旨が紹介されている[13]。

3.2. 特定用途向けAIモデルおよび統合アプリケーションの実装

Alibaba Group Holding Limitedの2026年3月期決算発表資料によると、Qwen LLMは推論およびコーディングでの能力が言及され、同社は動画生成および世界モデルのローンチによりマルチモーダルモデルポートフォリオを追加したと記載されている[4]。同資料では、Zhenwu chips、Alibaba Cloud、Qwen modelsを含む技術スタックについても説明されている[4]。

アプリケーション層では、同資料において、消費者向けQwen appにTaobaoおよびTmallのeコマースサービスを統合したことが記載されている[4]。また、Taobao appでは、商品アイデア生成、商品発見、販売中サポート、注文管理、購入後サービスを含む購買プロセスを支援するAIエージェントとしてQwen Shopping Assistantを開始したと記載されている[4]。同資料では、Cloud Intelligence Groupの2026年3月期売上は158,132 RMB million (22,924 US\$ million)で、2025年3月期の118,028 RMB millionから34%増加したと記載されている[4]。

4. プラットフォームにおける知的財産権保護(IPP)体制とガバナンス

AlibabaグループのTaobaoおよびTmall Group (TTG)は、プラットフォーム上の知的財産権(IPR)保護に関するポータル「Intellectual Property Protection Platform (IPP Platform)」を運用している[16][17]。同プラットフォームは、ブランド所有者や権利者がプラットフォーム上の侵害被疑商品に対する苦情申し立て(Notice and Take-downプロセス)を管理する窓口として機能している[16][17]。

4.1. IPPプラットフォームの運用規則と権利認証プロトコル

TTG公式のIPP Platform FAQページによると、権利者がプラットフォーム上で権利行使を行う際の本人確認および権利認証プロセスについて、要件が明記されている[18]。個人ユーザーがアカウントを登録または申し立てを行う場合、本人確認書類として国民IDカード、パスポート、または運転免許証のコピーの提出が必要とされている[20]。法人等の事業体の場合は、事業登記証明書または営業許可証のコピーが必要とされている[20]。

特許登録に関する公式ガイダンスにおいて、中国本土での保護期間は、発明特許が20年、意匠特許が15年、実用新案特許が10年と定義されている[19]。中国国家知識産権局(CNIPA)が発行する特許評価報告書(Patent evaluation report)の取り扱いについて、実用新案および意匠特許は付与前の実体審査を経ないため、権利認証のために同報告書の提出が要求される場合があることが記載されている[19]。また、複数の発明特許、実用新案、意匠特許を同時に提出する場合、それぞれ個別に検証用としてシステムに登録する必要があると定められている[19]。

4.2. 中小企業(SME)支援とGood-faith Takedown Mechanism

TTG公式のIPP Platformには、SME Support Centerが設けられている[20]。同ページでは、Alibaba GroupとInternational AntiCounterfeiting Coalition (IACC)の協力による「IACC MarketSafe Program for Small and Medium Entities (SMEs)」が紹介されている[20]。同プログラムは、参加するSMEに対して、1年間の無償サポートおよび侵害リスティングに対する迅速な削除申請のための仕組みを提供すると説明されている[20]。同ページでは、IACCのバイリンガル分析チームが削除依頼やセラーによる異議申し立てに関する支援を行うことも記載されている[20]。

さらに、TTGとIPR所有者またはその代理人との相互信頼に基づき、「Good-faith Takedown Mechanism」が構築されている[17]。この仕組みは、IPPプラットフォーム上で実績を有するIPR所有者に対して提供される権利行使・削除プロセスとして説明されている[17]。

4.3. Alibaba Anti-Counterfeiting Alliance (ACA) の運用実績

Alibaba Group Holding Limitedは、ブランド権利者や法執行機関と協力して模倣品対策を行うためのコンソーシアム「Alibaba Anti-Counterfeiting Alliance (ACA)」を運営している[21]。公式ESG Reportおよび公式ニュースによると、2017年1月の設立時には国際および中国の30ブランドとともに同アライアンスが発足した[21]。2017年中に加盟数は105のグローバルブランドへ拡大したことが報告されている[21]。

公式IPPニュースによると、2020年時点でACAのメンバーシップは世界中の193の権利者に成長し、カバーするブランド数は700以上に達した[22]。同資料において、2020年時点のACA加盟メンバーの地理的分布は、ヨーロッパが34%、北米が29%、中国が24%、その他のアジア太平洋地域が13%であったことが開示されている[22]。

4.4. 知的財産権侵害に対するプラットフォームの執行実績とAIツール

Alibaba Group Holding Limitedの公式レポート『Annual Report on Intellectual Property Protection』および公式ニュースによると、2020年にはプラットフォーム上でのIPR侵害に対する以下の執行成果が報告されている[22]。

- IPR侵害が疑われる商品リスティングのうち、96%が販売成立前にプロアクティブに検出され、削除された[22]。
- 消費者から報告されたIPR侵害が疑われるリスティング数は、前年比で33%減少した[22]。
- 知的財産権侵害の苦情のうち、24時間以内に処理された割合は98%であった。2019年の実績値は96%であった[22]。
- IPPプラットフォーム上の権利者アカウント数は、前年比で40%増加した[22]。

また、同社は商標クリアランスAIツール「ZaoMang」を展開している。同ツールは、中国の国家商標データベースやTmall、Taobao上の消費者認識データを利用し、権利者が潜在的な商標を特定し、悪意のある出願を回避するために利用されていると公表されている[22]。2020年には、同社のブロックチェーンベースの証拠保全技術が、IPR侵害訴訟において証拠として法廷で認められたことが報告されている[22]。

5. 環境技術(グリーン特許)の展開とESG領域における取り組み

Alibaba Group Holding Limitedは、公式ESG関連資料において、環境技術やクリーンエネルギー関連の知財イニシアチブ、自社の事業運営における環境負荷低減に関する情報を開示している[14][25]。

5.1. Low Carbon Patent Pledgeへの加盟と特許の無償提供

Alibaba公式ニュースによると、2022年4月22日に同社は「Low Carbon Patent Pledge(低炭素特許誓約)」に加盟した[23]。この誓約の一環として、同社はグリーンデータセンター技術に関連するエネ

ルギー効率特許9件を無償で利用可能にした[23][24]。

5.2. 自社運用における排出量削減とプロセッサ「Yitian 710」の開発

Alibabaの公式ESG Reportによると、2024年3月期に自社事業から排出される温室効果ガス(GHG)を5.0%削減した[25]。同資料では、年間で2.32 million tonsの運用排出量が削減され、これは前年比で63.5%の増加に相当すると記載されている[25]。同期間において、総電力消費量に占めるクリーン電力の割合は39%に達し、前年比で11.8 percentage-pointの増加を記録した[25]。また、自社の広範なバリューチェーン(Scope 3+)においては、ネット排出量原単位が前年比で7%減少し、収益1 million RMBあたり8.1 tonsとなった[25]。プラットフォームエコシステム全体におけるScope 3+の排出削減量は前年比で45.5%増加した[25]。同社が公表したCarbon Neutrality Action Reportに基づく「Scope 3+」イニシアチブでは、2035年までの目標値として、プラットフォーム全体でパートナーブランドや消費者と連携し、1.5 gigatonsの炭素排出量削減を目指すことが示されている[25]。

技術面における取り組みとして、データセンターのエネルギー効率を向上させるため、最大60 billionのトランジスタを搭載可能な独自開発のプロセッサチップ「Yitian 710」を導入している[24]。公式ブログの記載によると、同チップは他のモデルと比較してエネルギー効率比を50%高める性能を有している[24]。

5.3. 外部機関によるESGレーティング実績

Alibabaの公式ESGポータルによると、2025年3月期または同ページの公表時点における主要なESGレーティング評価として、以下が掲載されている[14]。

- MSCI: BBB (段階表記: CCC-AAA)
- S&P CSA: 48 (段階表記: 0-100)
- Sustainalytics: 15.2 (段階表記: 0-100、低リスク評価)
- CDP: B (段階表記: F-A)
- HSI/HKQAA: A- (段階表記: D-AAA)

6. 主要事業に関する市場シェア実績

Alibabaの主要事業であるクラウドインフラストラクチャおよびEコマースプラットフォームについて、市場調査機関、政府機関および公式発表による市場シェア等のデータは以下の通りである。

6.1. クラウドインフラ(IaaS)市場におけるシェア

Alibaba Cloudが公式ニュースにおいて引用したGartnerのレポート『Market Share: IaaS, Worldwide, 2025』(2026年4月10日発行)によると、アジア太平洋(Asia Pacific)地域におけるIaaS(Infrastructure-as-a-Service)の収益ベースの市場シェアにおいて、2025年にAlibaba Cloudは22.5%のシェアを獲得し、同地域で第1位となったとAlibaba Cloudは公表している[26]。同発表では、2024年のシェアは20.8%とされている[26]。

また同レポートに基づくAlibaba Cloud公式発表によると、Alibaba Cloudは中国本土および香港において収益トップの座を維持した[26]。その他の主要市場における順位として、マレーシアで第2位を維持し、インドネシアで第2位に浮上し、シンガポールで第3位へ上昇したことが報告されている[26]。IaaSのグローバル全体の市場シェアにおいては第4位にランクされている[26]。

6.2. 中国Eコマース市場におけるプラットフォームシェアと販売実績

United States Department of Commerce (US Trade.gov) の『China - Country Commercial Guide』が引用するYinma Data Researchのデータによると、2023年半ば時点で、AlibabaのTaobaoおよびTmallを合わせた中国のeコマース市場シェアは44%であった[27]。

United States Department of Agriculture (USDA) のレポート『China E-Commerce Report』(2025年発行)によると、2024年の中国全体のオンライン小売総売上高は2.16 trillion USDであった[28]。同資料によると、Alibabaの旗艦B2CプラットフォームであるTmall(天猫)の流通総額(GMV)は、2024年の業界アナリストによる推定値として約1.11 trillion USDであり、同プラットフォームへの新規参入加盟店数は前年比で83%増加した[28]。同レポートは、主要プラットフォームのGMVについて、業界アナリストによる推定値として記載している[28]。

さらに、Alibaba Group Holding Limitedの公式ニュースによると、2025年の「11.11 Shopping Festival」において、プラットフォーム上で以下の販売実績が記録された[29]。

- 11月14日午前12時時点で、ほぼ600のブランドが100 million RMB以上の売上を突破した。該当ブランドには、Apple、Haier、Midea、Yeswood、Xiaomi、FILA、Laopu Gold、CAMEL、Huawei、Nikeが含まれる[29]。
- 前年の同フェスティバルと比較して、34,091のブランドが売上を倍増させた。そのうち、18,048ブランドは300%以上、13,081ブランドは500%以上の売上増加を記録した[29]。
- 新製品に関する実績値として、14,246の新製品がそれぞれ1 million RMBの売上を達成し、売上100 million RMBを超えたアイテムのうち30%が新製品であった[29]。
- Fliggyは、払い戻しを除いたGMVにおいて30%以上の成長を記録した[29]。

7. 組織・拠点表

Alibaba Group Holding Limitedの公式SEC Form 20-F等で開示された、主要な子会社、組織および変動持分事業体(VIE)に関する設立地・展開範囲の情報は以下の通りである。

法人名 / 組織	公式資料で確認される設立地・展開範囲	出典
Alibaba Group Holding Limited (Parent)	Cayman Islands	[1]
Taobao and Tmall Group (TTG)	中国 (PRC)	[17]
Alibaba Cloud	中国 (PRC) / グローバル展開	[26]
Alibaba DAMO Academy	中国 (PRC)	[14]
Cainiao	中国 (PRC)	[25]
その他の税務申告対象子会社	Singapore, Hong Kong	[3]

法人名 / 組織	公式資料で確認される設立地・展開範囲	出典
(Tax loss carryforwards関連)	S.A.R., Malaysia	

8. 知財対応表

一次情報で確認された知的財産保護および技術管理に関する主なイニシアチブと運用プラットフォームは以下の通りである。

項目	概要(事実内容)	出典
Intellectual Property Protection Platform (IPP)	TaobaoおよびTmall Groupが運営する、権利者向けのIPR保護ポータル。	[16][17]
Good-faith Takedown Mechanism	相互信頼に基づき、プラットフォーム上で実績あるIPR所有者へ提供される権利行使・削除プロセス。	[17]
SME Support Center / IACC MarketSafe Program for SMEs	Alibaba GroupとIACCの協力により、参加SMEに1年間の無償サポートおよび侵害リスティングに対する削除申請の仕組みを提供するプログラム。	[20]
Alibaba Anti-Counterfeiting Alliance (AACAA)	ブランド権利者や法執行機関と協力して模倣品を排除するための連合。2020年時点で193権利者、700超のブランドが参加。	[21][22]
ZaoMang(商標クリアランスAI)	権利者が潜在的な商標を特定し、悪意ある出願を避けるために運用されているAIツール。	[22]
Low Carbon Patent Pledge	2022年に加盟。グリーンデータセンター技術に関するエネルギー効率特許9件を無償提供。	[23][24]

9. 市場シェア表

Alibaba公式が引用するGartnerデータ、および米国政府関連機関データにて確認された市場シェアとランキングは以下の通りである。

対象市場 / カテゴリ	対象企業 / プラットフォーム	対象期間	区分	シェア・数値	出典
Asia Pacific IaaS Market Share (Revenue)	Alibaba Cloud	2025年	Alibaba Cloudが引用するGartnerレポート	22.5%	[26]
Asia Pacific IaaS Market Share (Revenue)	Alibaba Cloud	2024年	Alibaba Cloudが引用するGartnerレポート	20.8%	[26]
China E-Commerce Market Share	Taobao and Tmall	2023年半ば	US Trade.govが引用するYinma Data Research	44%	[27]
Global Top Patent Owners in GenAI	Alibaba Group	2014-2023年	WIPO集計	第6位 (571の単純パテントファミリー)	[12]

10. IRイベント表

Alibabaの公式IRページ等で公表されている年次報告等の提出イベントおよび決算発表イベントは以下の通りである。

イベント内容	対象期間(決算期)	公表日 / 提出日	出典
SEC Form 20-F 提出	2026年3月期	2026年5月20日	[1]
SEC Form 20-F 提出	2025年3月期	2025年6月26日	[3]
Hong Kong Annual Report 提出	2025年3月期	2025年6月26日	[30]
Annual General Meeting (年次株主総会)	2025年	2025年9月26日 (結果公表)	[30]
December Quarter 2025 Results 発表	2026年3月期第3四半期	2026年3月19日	[7][31]
March Quarter 2026 and Full FY2026 Results 発表	2026年3月期	2026年5月13日	[4][31]

未確認事項

以下の事項については、引用可能な一次情報の調査範囲内では確認できず、または今回の調査では未確認となった。

- 2026年3月期末時点での、保有する特許および商標の正確な出願件数ならびに登録件数の総数。
- WIPOデータベース上における2024年以降のAlibabaの最新PCT出願件数ランキング。
- Alibaba Anti-Counterfeiting Alliance (AACAA)における2021年以降の加盟ブランド数の推移。2020年実績としては193権利者・700超ブランドが確認されている。
- Low Carbon Patent Pledgeに関連し、当初公開された9件以外の追加の無償提供特許の有無と件数。
- ZaoMangツールの具体的な利用実績件数や、それによりブロックされた悪意ある出願の正確な件数。
- Tmallにおける2026年現在の市場シェアの正確な数値。US Trade.govのレポートでは2023年半ば時点の44%(Taobaoと合計)が確認されている。

引用文献

1. Alibaba Group Holding Limited, Annual Report for Fiscal Year Ending March 31, 2026 (Form 20-F), SEC, accessed June 11, 2026, <https://www.sec.gov/Archives/edgar/data/1577552/000119312526231755/baba-20260331.htm>
2. Alibaba Group, Alibaba Group reaffirms its mission statement, sharpens its vision and announces an upgrade of its six values as it celebrates the 20th anniversary of its founding, accessed June 11, 2026, <https://www.alibabagroup.com/en-US/about-alibaba-memorabilia-1494037166496415744>
3. Alibaba Group Holding Limited, Annual Report for Fiscal Year Ending March 31, 2025 (Form 20-F), SEC, accessed June 11, 2026, <https://www.sec.gov/Archives/edgar/data/1577552/000095017025090161/baba-20250331.htm>
4. Alibaba Group Holding Limited, Exhibit 99.1 – Alibaba Group Announces March Quarter 2026 and Fiscal Year 2026 Results, SEC, accessed June 11, 2026, https://www.sec.gov/Archives/edgar/data/1577552/000110465926060224/tm2614494d1_ex99-1.htm
5. Alibaba Group, Alibaba Group Announces June Quarter 2025 Results, accessed June 11, 2026, <https://www.alibabagroup.com/document-1897714462505304064>
6. Alibaba Group Holding Limited, Exhibit 99.1 – Alibaba Group Announces September Quarter 2025 Results and Interim Results for the Six Months Ended September 30, 2025, SEC, accessed June 11, 2026, https://www.sec.gov/Archives/edgar/data/1577552/000110465925115949/tm2532163d1_ex99-1.htm
7. Alibaba Group Holding Limited, Exhibit 99.1 – Alibaba Group Announces December Quarter 2025 Results, SEC, accessed June 11, 2026, https://www.sec.gov/Archives/edgar/data/1577552/000110465926032060/tm269353d1_ex99-1.htm

8. Alibaba Group Holding Limited, Exhibit 99.1 – Announcement of the March Quarter 2025 Results and Fiscal Year 2025 Annual Results, SEC, accessed June 11, 2026, https://www.sec.gov/Archives/edgar/data/1577552/000110465925049400/tm2515233d1_ex99-1.htm
9. Alibaba Group Holding Limited, Exhibit 99.1 – Alibaba Group Announces June Quarter 2024 Results, SEC, accessed June 11, 2026, https://www.sec.gov/Archives/edgar/data/1577552/000110465924090102/tm2421791d1_ex99-1.htm
10. Alibaba Group Holding Limited, Fiscal Year 2025 Interim Report, SEC, accessed June 11, 2026, https://www.sec.gov/Archives/edgar/data/1577552/000110465924124075/tm2429821d1_ex99-1.pdf
11. World Intellectual Property Organization, PCT Yearly Review 2024: The International Patent System, accessed June 11, 2026, <https://www.wipo.int/edocs/pubdocs/en/wipo-pub-901-2024-en-patent-cooperation-treaty-yearly-review-2024.pdf>
12. World Intellectual Property Organization, Patent Landscape Report on Generative Artificial Intelligence (GenAI), accessed June 11, 2026, <https://www.wipo.int/web-publications/patent-landscape-report-generative-artificial-intelligence-genai/en/>
13. Alibaba Group, Alibaba Recognized on Fortune's 2025 Change the World List for Open-Source AI, accessed June 11, 2026, <https://www.alibabagroup.com/en-US/document-1907873420045975552>
14. Alibaba Group, ESG - Reports & Resources and ESG Ratings, accessed June 11, 2026, <https://home.alibabagroup.com/en-US/esg-resource>
15. Alibaba Group, Fiscal Year 2024 Annual Report, accessed June 11, 2026, <https://static.alibabagroup.com/reports/fy2024/ar/ebook/en/index.html>
16. Alibaba Group, Introduction to Alibaba Group Intellectual Property, accessed June 11, 2026, <https://www.alibabagroup.com/intellectual-property>
17. Taobao and Tmall Group, IP Protection Platform, accessed June 11, 2026, <https://ipp.alibabagroup.com/complaint/onlineForm/online.htm>
18. Taobao and Tmall Group, FAQ of Alibaba IPP Platform, accessed June 11, 2026, <https://ipp.alibabagroup.com/infoContent.htm?skyWindowUrl=uc/sc/faq-list/en>
19. Taobao and Tmall Group, Patent evaluation report guidance, accessed June 11, 2026, <https://ipp.alibabagroup.com/infoContent.htm?skyWindowUrl=uc/sc/faq/ipr-p-d-wipep/en>
20. Taobao and Tmall Group, IPP platform account and SME information, accessed June 11, 2026, <https://ipp.alibabagroup.com/ippContent.htm?skyWindowUrl=contact-us-sme-info>
21. Alibaba Group, Alibaba ESG Report 2018 – Trust, accessed June 11, 2026, <http://esg.alibabagroup.com/ui/pdfs/Alibaba-ESG-Report-2018-Trust.pdf>
22. Taobao and Tmall Group, Alibaba, Partners Notched Strong IPR Protection Gains in 2020, accessed June 11, 2026, <https://ipp.alibabagroup.com/infoContent.htm?skyWindowUrl=news-en>
23. Alibaba Group, Alibaba Group Joins Low Carbon Patent Pledge to Accelerate the Adoption of Green Technology, accessed June 11, 2026, <https://www.alibabagroup.com/en-US/document-1489317197007290368>
24. Alibaba Cloud, Alibaba Group Joins Low Carbon Patent Pledge to Accelerate the Adoption of Green Technology, accessed June 11, 2026, <https://www.alibabacloud.com/blog/alibaba-group-joins-low-carbon-patent-pledge-to-acc>

- [elerate-the-adoption-of-green-technology_598862](#)
25. Alibaba Group, Alibaba Progresses Towards Carbon Neutrality Goals and Digital Inclusion: 2024 ESG Report, accessed June 11, 2026, <https://www.alibabagroup.com/document-1752073403914780672>
 26. Alibaba Cloud, Alibaba Maintains Leading Position by Revenue as Asia Pacific's Largest Cloud Provider with Growing Market Share, accessed June 11, 2026, <https://www.alibabacloud.com/en/about/gartner-iaas-2025>
 27. United States International Trade Administration, China - eCommerce, accessed June 11, 2026, <https://www.trade.gov/country-commercial-guides/china-ecommerce>
 28. United States Department of Agriculture, China E-Commerce Report - Strategic Insights for US Food Agricultural and Beverage Exporters, accessed June 11, 2026, https://apps.fas.usda.gov/newgainapi/api/Report/DownloadReportByFileName?fileName=China%20E-Commerce%20Report%20-%20Strategic%20Insights%20for%20US%20Food%20Agricultural%20and%20Beverage%20Exporters_Shanghai%20ATO_China%20-%20People%27s%20Republic%20of_CH2025-0146.pdf
 29. Alibaba Group, Taobao and Tmall's 11.11 Shopping Festival Delivers Solid Growth for Brands, accessed June 11, 2026, <https://www.alibabagroup.com/en-US/document-1926184987447525376>
 30. Alibaba Group Investor Relations, Annual General Meeting, accessed June 11, 2026, <https://www.alibabagroup.com/ir-annual-general-meetings>
 31. Alibaba Group Investor Relations, Investor News, Events and Filings, accessed June 11, 2026, <https://www.alibabagroup.com/ir-news-filings>